

ふくしま

電友会だより



電友会

NTTグループOBの会

第 47 号

平成 30 年 1 月 1 日

福島地区電友会事務局

Tel・Fax 024-531-7421



謹賀新年

年頭にあたって

福島地区電友会
会長 齊藤 政夫

新しい年を迎え、会員の皆様そしてご家族の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



昨年は都市対抗野球の全国大会において、NTT東日本の野球部が36年ぶりに二度目となる念願の全国制覇を果たしまして、NTTグループ及び私達OBにとりましても、非常に喜ばしい出来事となりました。

またプロ野球においては、大半の野球解説者の予想通り、ソフトバンクホークスが日本一となり、大盛況の中で幕を閉じました。プロ野球の世界には、「三冠王」と云う言葉がありますが、これは、打率、打点、ホームランの3部門で一位となった超一流選手を指しております。

一方ある情報誌に掲載されておりましたが、芸能界には、「三感王」と云う言葉を日々の信条としている一流の芸能人がおりますが、その方のお名前はあの有名な加山雄三さんです。

若い時から若大将等と呼ばれており、継続してきたトレーニング等により、身体を鍛えていることとは思いますが、満80才になった現在でも、あの心身ともに若々しい姿で、テレビ、コンサート等で活躍しております。

「三感王」の一番目は、「感心」だそうですですが、人間は誰でも年齢を重ねる毎に日々の出来事に対する「感心」が薄れがちになるそうです。二番目は「感動」だそうですですが、年を重ねる毎に日々の生活の中で、「感動」に出合えるような場面にチャレンジする意欲が薄れていくそうです。三番目は「感謝」だそうですですが、年を重ねる毎に日々の生活の中で、素直に「感謝」の気持ちを表す精神が薄れていくそうです。

年が明けて、誰もが一つ年を重ねたこととなりますが、この「三感王」と云う言葉を日々の生活の中で念頭におきつつ少しでも毎日を元気に過ごしていければと思っております。

次に電友会の話題に移りますが、今年度の活動状況のポイントを報告しますと、一点目は、最重点取り組み事項の一つであります、会員の拡大であります。お陰様で昨年末時点で23名の新規会員の拡大を図る事が出来ました。

情報提供等も含めて、積極的に取り組んで頂きました会員の皆様には、改めまして厚く御礼を申し上げます。

二点目は、昨年8月の会報誌等の配達時に地域担当幹事の皆様をお願いをして、会員の皆様から、町内会の役員、ボランティア等の活動状況について聞き取り調査を実施致しました結果、約30%強の会員の皆様が、地域社会貢献活動（町内会役員、ボランティア等）に参画して活躍しておりました。社会貢献活動は電友会活動の基本方針の一つでもありますので、今後共自然体で継続出来ればと思っております。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝を祈念致しまして、大変簡単ではありますが、新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

NTT東日本 理事
福島支店長 山口 圭介

明けましておめでとうございます。

旧年中はNTTグループ
の事業運営に格別のご理
解とご協力を賜り、厚く御
礼申し上げます。



昨年7月に福島へ着任して
以来、瞬く間に半年が経過しました。福島、郡
山、会津、いわきの各拠点をまわり、地域のみ
なさまや社員と触れあうことで、自然の豊かさや
食材の美味しさ、復興に向けてのひたむきな姿
勢を実感しているところです。本年も福島県内
を津々浦々巡ることで、福島の良さを発見して
いきたいと思っております。

さて2018年は、平昌(韓国)で冬季オリンピッ
ク・パラリンピックやロシアで FIFA ワールドカ
ップが開催されるなど、スポーツで盛り上がる一
年と感じております。福島県内においても2019
年のラグビーワールドカップにおけるキャンプ
地候補になり、2020年東京オリンピックにおけ
る一部競技が県営あづま球場で開催されたりす
るなど、自治体、各企業等が一体となって準備
を加速させる年になります。福島の元気な姿を
世界に発信するまたとない機会ですので、NT
T福島グループが一丸となって最高の舞台を用意
するお手伝いをしたいと考えております。また、
6月には全国植樹祭も福島県で開催され、多
くの方がお越しになります。通信事業者とし
て安心して利用できる通信環境の提供に向け、
NTT福島グループの実力を大いに発揮したい
と思っております。

本年も引き続き、NTT福島グループでは、ビジ

ネスユーザ市場における販売強化や業務の効率
化推進と生産性向上等に重点を置いた事業運営
に取り組み、社員が一丸となって東日本大震災と
原発事故からの復興に関する取り組みを推進し
ていきます。「クラウドサービス」や「セキュリ
ティサービス」、「Wi-Fi」といったサービスを
組み合わせお客さまにご利用していただくこと
で、社会的な課題解決を行い、安心、便利で豊
かな生活を実現していきます。お客さまの課題
解決を通じ新たな価値を生み出し、継続したサ
ポートでお客さまとの結びつきを深め、地域
のお客さまと一緒に成長、発展していきます。

今後も、自治体・企業・県民のみなさまとの
連携・コミュニケーションをしっかりと図りなが
ら、安心・快適な地域社会の実現と地方創生の
動きが推進されるようサポートしてまいります
所存です。これらの取り組みを進めていくため
には、県内各地のコミュニティにおいてご活躍
されている電友会のみなさまのお力添えをい
ただくことが是非とも必要となりますので、
変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

最後に、貴会の今後益々のご発展と会員の
みなさまのご健康・ご多幸を心より祈念申し
上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



戊年生まれの方々の抱負

(掲載順不同)

■黒森 澄夫さん

明けましておめでとうございます。退職後電友会に入会し、しのぶ里山トレッキング倶楽部でわいわいがやがやとにぎやかな山登り、また、しのぶ囲碁クラブで二か月ごとの囲碁大会、対局等のほか家庭菜園と毎日忙しく過ごしていましたが、最近では座骨神経痛のせいか、長時間の歩行が困難になり4月以降山登りは休業状態です。年には勝てず、整形外科、内科、眼科、歯科と医者通いをしております。無理をせず、しのぶ囲碁クラブ、家庭菜園を楽しんでいきたいです。今後ともよろしく願いいたします。



■山本 豊彦さん

明けましておめでとうございます。終戦の翌年に生まれ、六度目の年男を迎えることが出来、家族や皆様に大変感謝しております。これからも健康第一に、軽い運動をし、趣味の「カラオケ」、「アマチュア無線」を楽しみながら、健康寿命を高め、次の年男も元気でむかえられるよう頑張ってください。



■丹野 秋吾さん

明けましておめでとうございます。お陰様で六度目の年男を迎えることができました。長く生きていますと、胃潰瘍で胃を三分の二切除、胆石除去手術、脳梗塞、白内障で両眼人工水晶体(レンズ)に交換と自慢にならない病歴。年初めに相応しくない話ですが、これらに打ち勝ち、今は元気で幸せな毎日を送っています。これからも、自分の足で歩き、手で物を作り、目を見て、頭で考えて他人に世話や迷惑をかけない七度目の年男を迎え



たいものです。

■田村 孝夫さん

新年明けましておめでとうございます。早いもので、また戊年を迎えることになり感慨深いものがあります。また、仕事面では上司、先輩、同僚等に支えられ無事務めあげられたことを懐かしく思い出されます。今年も地域ボランティア活動への参加及び小規模畑での野菜作りや花を育てていくとともに、これからも健康維持のため週数回のスポーツジム通いを続けるとともに孫達の成長を見守りつつ一日一日を大切に人生を歩んでいきたいと思っております。最後に電友会皆様のご多幸を祈念いたします。



■高橋 敬一さん

明けましておめでとうございます。あっという間に6回目の年男を迎えてしまいました。在職中は転勤が多く、町会活動は妻任せにしていたこともあり、退職と同時に町会の役員を引き受け、今年で17年目を迎えることになりました。現在は、町会と老人クラブの副会長・花見山観光振興協議会環境部会委員・渡利子供守る会会員、それに電友会事務局長と、結構暇のない毎日を過ごしています。高齢者の健康とボケ防止には「キョウイク」と「キョウヨウ」が必要と言われております。「今日行くところ」「今日用事がある」このことを肝に銘じ、地域社会に協力し・人に迷惑をかけない、そんな日々を送りたいと思っております。



■町田 勇さん

戊年生まれで、今年七十二歳になります。我が家には二才半のオスのオーストラリアンシェパードがいます。子供たちが親の健康を心配して買ってくれたものです。大分間が開きましたが、二代目になります。毎朝四時半、犬に起こされます。足に重りを着け、散歩を兼ねた



ウォーキングの一日が始まります。雨の日、雪の日、きついのが二日酔いの日ですが、私以外に出来る者がいません。日に三回の散歩、それに腕立て伏せ、腹筋、ストレッチは欠かしません。山登りを始めて50年、いろんな山歩きをしてきました。最近、筋力の衰えか、靴下を履くときによろけたりします。また、若いガイド仲間と登山中、付いていけないときが増えてきました。今年も、日本山岳ガイド協会認定の登山ガイドの活動が出来るよう、頑張ります。

■伊藤 五明さん

新年明けましておめでとうございます。電友会の会員の皆様も、良いお年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。



「今年には貴方が年男です。抱負を」と連絡を頂き、初めて年男と、それも六回目の年男です。今まであまり気にした事はありませんでした。ふと思ったのが子供の頃に、「人生五十年、化天のうちを比べれば、夢幻の如くなり」(敦盛)今は五十をとうに過ぎています。今まで出来なかった「夢」を、今年こそ実現したいと思っています。長年の「夢」だった愛車で国内をツーリングすることです。出来れば北海道を皮切りに、日本全国(実現出来るか、歳を考えると)を回りたいと思っています。

もう一つは、孫が成人しています。出来れば元氣なうちに、曾孫を見たいと思っています。そのためには、健康が第一です。今年には「夢」を実現するため、自分自身で体を鍛え、もう少し長生き出来るように頑張りたいと思っています。(三日坊主が) 電友会の皆様のご多幸をご祈念いたします。

■岩上 利信さん

退職したら家庭菜園をやろうと若松の友人に誘われ、家庭菜園を始め野菜日記をつけて11年になります。事情があつて週のうち3日は若松で過ごしているため、何も



せずにボートしているのは勿体ないですね。お陰で気のおけない友人達と出会え、定期的集まり親交を深める機会もできました。気軽に話合える友人がいるそれだけでも心強い限りです。寒い季節は休眠状態ですが温かい季節になれば心地よい汗をかき、安心して口にできる美味しい野菜作りに挑戦し、野菜日記をふりかえりながら今年はどうに野菜を育てようかと楽しみにしています。

■齋藤 馨さん

私の座右の銘にしているドイツの詩人サムエル・ウルマンの詩の一節を紹介し、これからの人生を「俺はまだ72歳!」という気持で生きたいと思っています。



『青春とは怯懦を退ける勇氣、安易を振り捨てる冒険心を意味する。ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にして已む』

今年で17年目を数える日本語教室での指導の他、毎朝の通学路での見守り活動、町会役員、退職者の会役員を引き受けています。趣味は卓球とガーデニングですが、一年中手を掛けてやるいろいろな花が咲いてくれ、その可愛さに心が癒されます。健康のためにも体が動く限り両方とも続けたいと思います。今やらせていただいていることは僅かなことですが、社会の為に少しは役に立っているのかなという自覚を持てるのが嬉しいです。

■羽田 英夫さん

この世に生を受けて72年、健康で過ごして来たのも生み育ててくれた親と家族、今までお世話になった方々に感謝です。これからは家庭菜園、庭木の手入れ、見守り隊等地域活動をやり、酒を楽しみ、少し耳が遠くなったのと寒いと鼻水が出るくらいは良として元氣



に過ごしていきたい。

■渡邊 昇吉さん

今後の人生に大きく左右されるのは健康寿命です。昭和40年に電電公社福島通信部工事課に入社してから、ラインマンとして37年働かせていただきました。



その間には同じ現場で作業していた先輩が転落事故でなくなるなど悲しい出来事や職場で行った忘年会で劇を交えた出し物など笑い転げたことなど、思い起こせば限りなくずいぶん長い間生きてきたものと痛切に感じます。今年は成年、いつもは自分の年など忘れて生活していましたがはっとしました。生まれてこの方まで病気らしい病気もせず健康な体を与えてくれた親とそれを支えてくれた妻に感謝です。私の健康法は20数年続けている社交ダンスを続けていることから足腰が丈夫なことで妻をパートナーに年に数回ダンスの競技会に出場し脳と体を刺激していることです。昨年家庭菜園を始めましたが、それこそ手をかけないと良いものができることが分かり、その道の先輩にアドバイスをいただき楽しくやっています。今後も趣味を生かし健康維持に努めていきます。

■遠藤 貞夫さん

明けましておめでとうございます。退職して18年近くになりますが、現在は老老介護でいろいろ苦労しています。母が認知症になり、人の言うことは聞かなくて大変ですがデイサービスに行っている時は、時々家内と近くに車で出かけ気分転換を図り、たまにはゴルフ等で過ごしています。皆様も体に気を付けてお過ごしください。



■長谷川 欣寿さん

新年明けましておめでとうございます。6度目の年男を元気に迎えることが出来ました。NTTを退職時に、今後はスローライフで過ごしたいと話

をしましたが、性格上うるさい犬のように、動き回っております。最近では気持ちと体力のバランスが崩れたようで、足腰を鍛えるためプールに通う計画です。現役時代は町会の手伝いが出来なかったため、現在、町会の代表をしております。中々忙しいものですね。



《その他の年男の皆さん》

[1934年生] 津田 恒雄さん 山岸 喜一さん
[1946年生] 佐藤仁次郎さん 大久保清三さん



新 入 会 員 紹 介

(掲載順不同)

■五十嵐 進さん

この度ゴルフ仲間の知人の紹介で福島地区電友会に入会することとなりました。在職中は、無線職場で主にマイクロ回線TV中継回線等の、工事、保守、運用をやっていました。NTT退職後テレビの地デジ移行に伴う総務省地デジ支援事業に三年ほど携わり、県内の全市町村を回らしてもらい、県内全域を知る良い経験をしました。電友会では、しのぶゴルフ倶楽部を通じ会員の皆さんと交流を広げていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



■堀内 良巳さん

昭和47年4月に、千葉県野田市の野田電報電話局機械課に採用され、平成28年3月に、福島LMC設備管理担当を最後に退職しました。趣味が



ゴルフということで、ゴルフを通じて電友会の皆様と親交を深めることができればと思っています。宜しくお願い致します。

■富樫 富昭さん

平成28年12月に42年間の勤めに終止符をうち、退職致しました。昭和49年7月に福島電報電話局・受付通信課に中途採用され、初めての一人暮らしをすること、初めての仕事に対しても不安が一杯ある中で故郷、酒田を出てきたことがついこの間のように思い出されます。採用後すぐに仙台研修センタで4か月間の研修があり、最終月の10月に巨人軍の長嶋茂雄の引退セレモニーがテレビで中継され、研修センタ談話室でみんなで泣きながら見ていたことを鮮明に覚えています。仕事では県内4支店及び仙台勤務で多くの人と知り合うことが出来ました。転勤するたびに、皆さんから助けていただいて楽しく飲んで仕事が出来ました。電報からスタートして、アナログ・ISDN・ADSL・ひかりと物凄いスピードで変化する時代を経験できました。特にいわき支店勤務の時はADSL全盛の時に非常に忙しい時を過ごしたことが思い出されます。あれから40年、大きな病気をすることもなく勤め上げることが出来たことは、ひとえに、先輩諸氏、同僚、家族のささえがあつてのことと感謝しています。今後はとりあえずゆっくりして第二の人生をじっくり考えて行きたいと思えます。孫も三人となり、山形、神奈川におりますので行ったり来たりしています。これからは皆様にお世話になりいろいろな行事に参加して、可能な限り頑張りたいと思えますのでよろしくお願い致します。



■真藤 和雄さん

今回電友会からお誘いがあり、断る理由が無いため入会しました真藤と申します。出身は宮城県石巻市です。宮城県には高校卒業



するまでの18年間だけで、そのあとは現在まで47年間福島県です。ですから宮城県より福島県のほうが明るく、すっかり福島県人になりました。勤務地は、いわき市平の採用から始まり福島市その次は郡山市また福島市と異動しました。いわきには競輪場・福島には競馬場がありましたので自然にギャンブルを覚えました。そのほかの趣味としては麻雀・パチンコ・ゴルフ・登山などもしましたが、今も長続きしているのはパチンコだけです。リフレッシュするにはパチンコも役に立つときもあり(役に立たないときのほうが多いかも?)馬鹿にできません。最近釣りの誘いがあり、海釣りを始めました。最低限の道具を揃えたつもりですが20万円位の費用がかかりました。魚屋で買ったほうが安いのが分かっていても釣れたときの醍醐味があります。大きな真鯛を釣り上げたときは興奮し、大変嬉しかったです。こんな私ですが、どうぞよろしくお願い致します。

■佐々木 充さん

平成27年6月をもちまして、NTT 東日本一東北を退職し、現在 協力会社でお世話になっております。福島での勤務は平成7年3月～平成10年3月までの約3年間のみでしたが、山下ビル及び県内の設備関連の諸先輩の皆様にはたいへんお世話になりました。今 NTT グループ時代を振り返れば、東北6県及び首都圏等での勤務をさせていただき、多くの方々と交流させていただいたことが一番の宝だと思えます。これからは福島市に腰を据え、ゴルフ等のサークルを通じ、諸先輩の皆様と楽しく人生を歩みたいと思えますので、よろしくお願い致します。



■二階堂 保夫さん

昭和45年4月に会津若松電報電話局に採用されてから退職までの47年間に福島、仙台、会津若松、郡山へ職場が変わり、いろいろな方と知り合い経



験もさせていただきました。今振り返ってみますと、仕事や人間関係において大変さもありましたが、それも懐かしい思い出となっております。諸先輩からのご指導や同僚等との繋がりを深めることができ、恙なく退職を迎えられたことに感謝しておりますし、人との繋がりが最も大切であると今更ながら感じております。

退職してからは晴耕雨読の日々を過ごしておりますが、先輩、友人から当会への入会のさそいがありましたので、懐かしい諸先輩等の方々とお会いできる機会も多くなるのではないかと思います。皆様には何かとお世話になるかと思っておりますのでよろしくお願い致します。

■長堀 正志さん

山形県酒田市出身、65歳。
関東・東北とあちこち転勤、十数回引っ越しを重ねましたが、ME 福島で退職を迎えこの地で暮らすことにしました。朝夕の愛犬の散歩とウォーキング、近くに借りた畑を耕し、旬の野菜を育て食すことを日課に日々のんびりと過ごしています。ここ数年、好きなゴルフを満喫しています。体力の衰えから下手になる一方ですが、友人たちと楽しくラウンドしています。冬には寒さと息切れになんとか耐えながらスキーも続けています。



《その他の新入会員の皆さん》

竹下 正明さん 島貫 悌一さん
板垣 文雄さん

■ご冥福をお祈りします

○赤沼 三郎 様

(平成29年9月16日 享年90歳)



pixta.jp ~ 25157850

趣味のコーナー

(余技作品展に変わる新しいコーナーです)

【仏像彫刻】 丹野 秋吾さん

退職の次の日から毎日が日曜日、現役時代にできなかったドライブ、写真撮影、温泉旅行など好きなことを好きな時にして楽しんでいましたが、それでも有り余る時間に飽きてきたことと、年金暮らしでの経費の制約でままならない生活。

何か趣味でもと思うが、屋外でのスポーツなどは暑い、寒い、疲れると気が進まない。屋内での囲碁将棋、麻雀など頭を使うのも苦手。

まだまだ長い余生を、じっくり時間をかけて何かを創り、残したいと考えていたところ、新聞チラシに、京都で仏像彫刻の修行をした仏師がカルチャー教室で本格的な仏像彫刻を教えるとあり、これだよ、俺のやりたかったことは即入門し、今は東大寺南大門に安置されている金剛力士・阿形を一新不乱に製作中です。



製作中の金剛力士像

彫る心構えとして、仏像を彫る道具、木を大切に扱い、木の中の仏様と出会うことだと思います。「木の中の仏迎える鑿の技」と大仏師松久朋琳が詩っています。「仏像彫刻のすすめ」から引用。

今回ご紹介するのは、「聖観音菩薩立像」です。

各種催し物



聖観音菩薩立像(完成品)

最初に①聖観音菩薩ご本体②下框③上框④茄子⑤蓮華座⑦光背⑧左手に持つ蓮華の各部位を作り組み立てます。2年半かけて、初めて世の中に一つだけの聖観音菩薩立像を完成させることができました。



製作に没頭する丹野秋吾さん

合掌

<事務局からひと言>

取材でご自宅を訪問して、実際の作業状況を拝見させて頂きました。玄関や部屋のあちこちに、今まで制作した仏像が何体も飾られており、その全てが素晴らしい出来栄で、感動しました。また、仏像の指は「爪楊枝」位の太さで、制作途中で何回も折れたりする苦労話もお聞きました。仏像彫刻は本当に根気のいる作業だなあと、思っ帰って来ました。(事務局 荒木)

■NTT福島グループOB・OG交流会開催

10月23日福島駅西口にあるザ・セレクトン福島において、「NTT福島グループ OBOG 交流会」を開催しました。

今年は、OBOG148名・ご来賓、NTT幹部を含め総勢168名参加予定でしたが、あいにく台風21号の影響により、JR在来線や阿武隈急行線が運休となり、約20名が参加出来ないというハプニングがありました。



NTT福島山口圭介支店長主催者挨拶

式典は、電友吾妻会浅野敬子さんの司会により、NTT労組退職者の会廣田幸夫事務局長の開会挨拶、NTT東日本福島支店山口圭介支店長の主催者挨拶、その後福島地区電友会斉藤政夫会長の乾杯で始まりました。



乾杯の斉藤政夫会長

余興では、祝吟「電信電話記念日を祝す」を、福島地区電友会菅家政利さん。

日本舞踊「寿」を、電友吾妻会大塚美和子さ

ん。安来節に合わせた「どじょうすくい」を、退職者の会寺島功さんが行いました。



日舞「寿」を舞う大塚美和子さん

その後、恒例のカラオケタイムに入りました。進行係は電友カラオケクラブが務め、歌は勿論音楽に合わせた踊りなど飛び出し、宴は大いに盛り上がりました。



相撲甚句を歌う渡部幸雄さん



祝賀会場の模様

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまうものです。お開きは、電友吾妻会佐藤京子副会長の音頭で行い、来年また元気な姿での再会を約束し散会となりました。

■文化講演会開催

10月23日ザ・セレクトン福島において、今年も「OB・OG交流会」の第1部として、福島県危機管理部災害対策課防災専門監渡邊勲氏を講師にお迎えし、「災害に対する日頃の備え」と題し、講演会を開催しました。

当日は、台風21号の影響で参加者の減少を懸念しましたが、112名の参加者がありました。

おりしも台風通過後の交通機関の乱れもあり、グットタイミングな演題になり、自然災害発生時の心構え、福島が抱える原発事故の教訓など、私たちが関心を持っているものでしたので、皆さん熱心に聞き入っていました。講演終了後の質問も多数あり、予定の時間を15分もオーバーするほどの盛況でした。

今後も、皆さんが関心のある事柄を演題とした講演会を開催して行きたいと考えています。



講師 渡邊 勲様



講演会会場の模様

NTT 施策に協力

■「電電ありの実会」の活動に募金で協力

NTT福島支店が長年行っている、児童養護施設「青葉学園」への支援活動の協力として、今年も10月23日に行われた「OBOG 交流会」会場で募金活動を行い、「55,968円」の浄財が集まりました。早速NTT山口支店長にお渡しし大変喜ばれました。



会場受付での募金活動模様

■「福島ひまわり里親プロジェクト」に協力

昨年に行っている本施策に、今年は32名71口(1口20粒)の協力を頂き育てて頂きました。

今年は天候不順が続き、思うように育たなかった会員もいましたが、事務局には「6,320g」の種が集まり、11月14日NTT福島支店にお届けしました。NTTで集約後プロジェクトを主宰する NPO を通じ精製し、バイオ燃料として福島市内を走るバスに活用される、とのことでした。



集まったひまわりの種

■NTT福島グループクリーンアップ活動に参加

例年、NTT福島グループが街中のライトアップ時期に合わせて実施している、中心市街地のクリーンアップ活動は12月2日土曜日、現役社員・グループ会社・OBOG 総勢96名の方が参加し行われました。

当日は、午前9時大町ビル構内で出発式を行い、NTT福島山口支店長から「交通事故などには十分注意し安全作業でお願いしたい」との挨拶の後、2ルートに分かれ約1時間、空き缶・落ち葉などを拾って回りました。

なお、OBOG の参加は地区電友会12名・吾妻会6名・退職者の会4名の計22名に協力を頂きました。参加された皆さんお疲れ様でした。



NTT福島山口支店長挨拶と参加の皆さん



落ち葉清掃の模様

ボランティア活動賞

■電友会本部長表彰を受賞

平成29年度「ボランティア活動賞」本部長表彰式が、11月24日東京で行われ福島地区から2名の方が、「長年にわたる社会福祉活動に寄与した功績」により受賞しましたので紹介します。

◇伊藤 重さん

平成6年NTT退職後福島県が主催する「県民のつばさ」の一員として、ドイツ・オーストラリアに福祉・教育の研修(15日間)に参加。その後、平成7年から民生児童委員として21年間に亘り、被保護世帯・要保護世帯の更生指導などを行ってきた。

また、平成27年からは福島地区電友会幹事として現在も活躍中である。



◇齋藤 源一さん

平成6年NTT退職後、(財)電気通信共済会に努めた後、平成13年から民生児童委員として地域住民の相談役として15年の余り、被保護世帯・要保護世帯の更生指導などを行ってきた。この間、民生児童委員協議会副会長を6年間務めた。

また、平成9年から現在まで、福島地区電友会地域幹事を務める一方、地域町内会活動にも長年携わり、平成24年から泉地区町会連合会副会長、現在は同連合会会長として活躍中である。



事務局だより

■あおぞら福祉会「菊の里」チャリティバザーに協力

食用廃油提供先である二本松市の生活介護施設「菊の里」から、11月12日に行われたチャリティバザーへの協力として、物品の提供依頼が事務局にあり集約期間も短かったことから、メール環境のある会員にお願いしたところ、8名の方から55点の品物提供がありました、協力ありがとうございました。末永副会長が施設に届け、先方から大変喜ばれました。

■「所外不良設備情報提供強化月間」の結果

定期総会で決議しました、「8月1日～10月31日」の強調月間の期間中、74件の情報提供を頂き、ありがとうございました。しかし、新たな情報提供者は微増であり、今後の取り組みについては、さらなる施策の検討が必要という結果になりました。

■第二回役員会開催

9月7日NTT山下ビル ICT ラウンジ「アベニューール」において、今年度第2回役員会を開催しました。

齋藤会長から、今年度も早いもので上期がまもなく終わる。下期に向けての事業の進め方等有意義な会議にして行きたい。との挨拶後以下の

議事により会議を行いました。

- 1.平成29年度事業計画の進捗状況と今後の進め方について
- 2.平成29年度予算の執行状況と会費納入状況について
- 3.会員拡大取り組みの進捗状況について
- 4.不良設備情報提供強調月間の取り組み状況について
- 5.NTT施策「ひまわり里親プロジェクト」の取り組み状況について
- 6.NTT東北スポーツ後援会への支援金協力について

会議終了、従前から食用廃油の提供に協力を頂いている、市内春日町「吉野」において納涼懇親会を行い、会のモットーである「融和と親睦」をはかり、有意義な時間を過ごしました。



会議後の納涼懇親会模様

■新年会開催の案内

今回配布した資料の中に、新年会の案内文書と出欠返事の「はがき」が同封されています。

- ・開催年月日：平成30年1月25日(木)15時～
- ・開催場所：グランパークホテルエクセル福島 恵比寿(福島市曾根田10-6)
☎ 533-4166
- ・会費：4,000円
- ・連絡締切：平成30年1月15日(月)

多数の参加をお待ちしております。

■ボーリングサークル結成に向けて

サークル結成の要望があるボーリングについて、同好者を募った大会を2月に予定します。

詳細は別途、事務局から同好者へ案内しますが、なお、興味ある方は事務局へ電話して下さい。(担当 荒木)

<会員の皆様へお願い>

1. 食用廃油の提供
2. 不良設備情報の提供
3. 東北会報83号の原稿提供

(随想、俳句、川柳等)

締切は平成30年5月15日まで事務局必着となります。



本年もよろしくお願ひ致します。

寒さの厳しい時期を迎えますの

で、健康には十分注意しましよ

う。